

## 連結財務諸表

### ▶▶ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2022年7月31日現在)	前期 (2021年7月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	23,513	17,933
固定資産	7,645	3,010
有形固定資産	4,458	1,808
無形固定資産	305	185
投資その他の資産	2,881	1,016
資産合計	31,159	20,944
(負債の部)		
流動負債	22,795	10,978
固定負債	1,288	1,499
負債合計	24,084	12,478
(純資産の部)		
株主資本	7,024	8,455
資本金	2,042	2,038
資本剰余金	1,820	1,817
利益剰余金	3,300	4,599
自己株式	△ 138	—
その他の包括利益累計額	46	8
新株予約権	0	1
非支配株主持分	2	—
純資産合計	7,074	8,465
負債・純資産合計	31,159	20,944

### ▶▶ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (2021年8月1日から 2022年7月31日まで)	前期 (2020年8月1日から 2021年7月31日まで)
売上高	60,185	46,752
売上原価	12,077	7,027
売上総利益	48,108	39,724
販売費及び一般管理費	47,028	34,051
営業利益	1,080	5,673
営業外収益	228	114
営業外費用	43	20
経常利益	1,264	5,767
特別利益	160	—
特別損失	1	1
税金等調整前当期純利益	1,423	5,765
法人税等	1,797	1,924
当期純利益	△ 374	3,841
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 374	3,841

### ▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (2021年8月1日から 2022年7月31日まで)	前期 (2020年8月1日から 2021年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,065	5,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,539	△ 442
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,679	1,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 22	△ 14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 948	6,511
現金及び現金同等物の期首残高	9,794	3,282
現金及び現金同等物の期末残高	8,845	9,794

## 部門紹介

### B to B事業

機能性素材、健康食品及び医薬品等の研究開発及び製造を行い、食品・医薬品メーカー、流通事業者等に販売をしております。

### B to C事業

当社及び株式会社フューチャーラボのサプリメント、化粧品等の各製品をテレビ、ラジオ等の広告媒体を通じて販売しております。

### バイオメディカル事業

独自のニワトリ由来抗体作製技術及び卵黄由来生理活性ペプチド開発技術を用いた創薬事業を行い、製薬会社へライセンスアウトを行っております。

## 株式の状況

(2022年7月31日現在)

- 発行可能株式総数 68,800,000株
- 発行済株式の総数 29,073,800株
- 株主数 20,715名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,481,200株	8.55%
金 武 祚	2,159,176株	7.44%
株式会社PFホールディングス	1,480,000株	5.10%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	763,000株	2.63%
江崎グリコ株式会社	732,000株	2.52%
益 田 和 二 行	682,423株	2.35%
金 英 一	649,000株	2.24%
ロート製薬株式会社	600,000株	2.07%
金 千 尋	509,100株	1.75%
益 田 美 玲	483,300株	1.67%

\*持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。

## 役員

(2022年7月31日現在)

代表取締役社長	金 田 武 祚
専務取締役	益 堀 田 二 行
常務取締役	堀 井 上 泰 義
常務取締役	井 上 泰 義
社外取締役	青 佐 村 根 義 哉
社外取締役	山 上 根 田 哲 郎
社外取締役	伊 井 野 太 貴
常勤監査役	西 脇 大 真 輔
社外監査役	辻 本 真 輔
社外監査役	八 田 信 男

# PF 株式会社ファーマフーズ



代表取締役社長  
金 武 祚

## 第25期 年次報告書 2021年8月1日から2022年7月31日まで

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第25期(2021年8月1日から2022年7月31日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。当社グループは、「100歳時代に価値ある豊かさや価値ある健康を」というサステナビリティビジョンを掲げ、人々の持続可能な健康的で幸せな社会の実現を目指しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の社会に対する影響については、徐々に経済活動の回復の兆しが見えてきているものの、日米の金利差拡大、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした原油・原材料の高騰及び円安など、先行き不透明な状況が続いております。

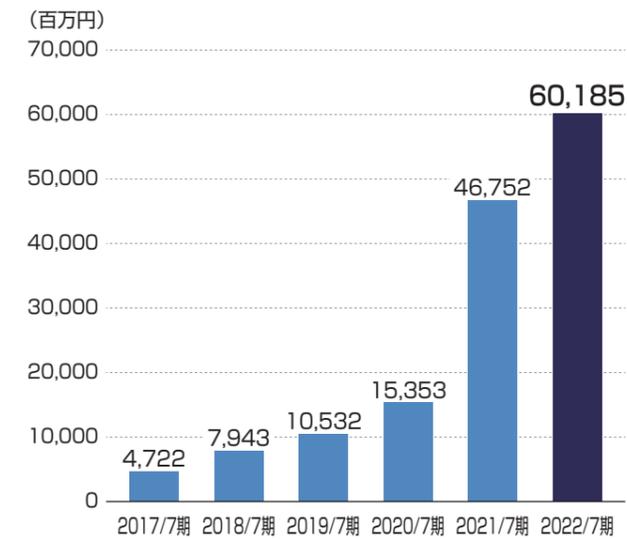
一方、このような生活様式の急速な変化にもかかわらず、消費者の医療、健康及び美容に対するニーズは引続き継続しております。

こうしたニーズに応えるべく、「中期経営計画2026」のテーマ「新価値創造 1Kプロジェクト」を掲げ、この実現のため、新規素材開発、研究員の採用強化をはじめとした研究開発投資、新商品及び主力商品への広告投資、M&A推進及びアライアンス構築に注力いたしました。

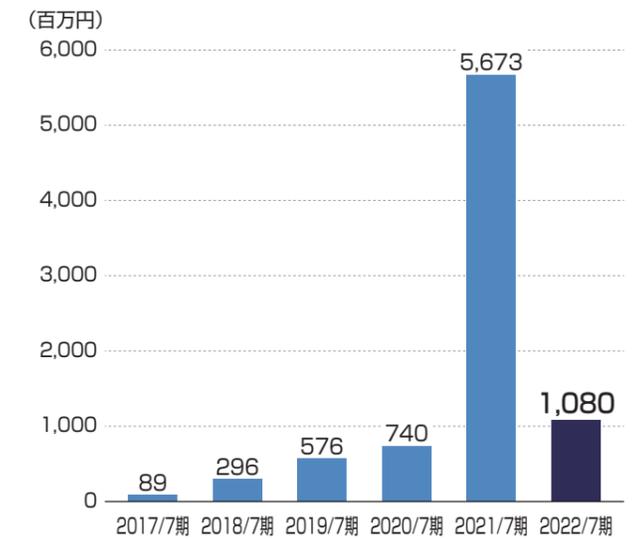
その結果、当連結会計年度の売上高は60,185百万円(前期比28.7%増)、営業利益1,080百万円(前期比81.0%減)、経常利益1,264百万円(前期比78.1%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は374百万円(前期は3,841百万円の利益)となりました。

## 会社の業績(連結)

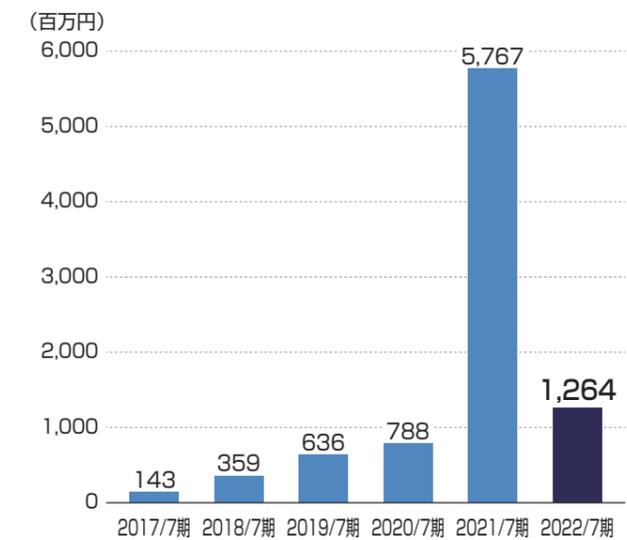
### 売上高



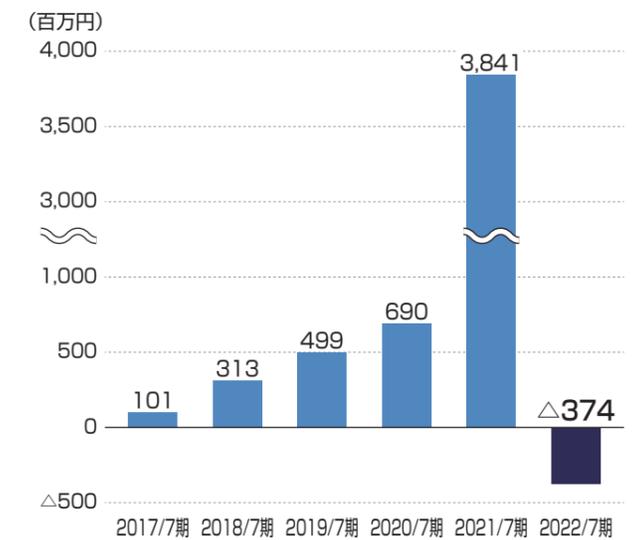
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



## 会社概要

### 会社概要

(2022年7月31日現在)

- 社 名 株式会社ファーマフーズ
- 本 社 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電 話 075-394-8600
- 設 立 1997年9月12日
- 資 本 金 2,042百万円
- 連結従業員数 624名
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売、通信販売事業、バイオメディカル事業

## 新サービス 北欧大手と次世代プロテオーム解析参入

バイオメディカル事業のプロテオーム解析部門、アプロサイエンスグループが、国内初となる「Olink® Target(オーリンク ターゲット)」受託サービスを開始しました。

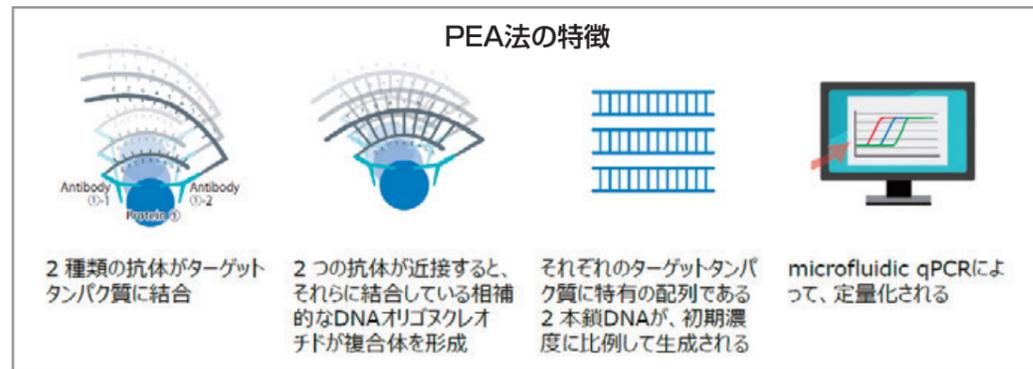
### 極微量のタンパク質でも精度よく解析



Olink Proteomics社（以下、Olink社）（アメリカ・ナスダック上場：OLK）は、スウェーデンのウプサラを本社とするプロテオミクス製品及びプロテオーム解析のプラットフォームを提供する企業です。

Olink社のプラットフォームであるProximity Extension Assay（PEA法）は、質量分析を用いたプロテオーム解析とは全く異なる、革新的なプロテオーム解析の手法です。これまでの「質量分析法」では、微量に存在するタンパク質の検出や定量が困難という課題がありました。

一方、PEA法では極微量に含まれるタンパク質でも精度よく比較定量することができることから、バイオマーカー探索や疾患プロテオミクスの加速が期待されております。



### Andrea Ballagi氏のコメント

(Olink社アジア太平洋地域セールス&マーケティング担当ヴァイスプレジデント)

“ファーマフーズの確かな研究開発力と、20年以上にわたって世界の顧客にサービスを提供してきたOlink社の技術は、ヘルスケア市場におけるアンメット・ニーズに対応できると確信しております。”



### 次世代プロテオーム解析の次元へ

アプロサイエンスグループは、生体内の微量なタンパク質の変化と疾患又は食品摂取との関係を解明し、創薬標的タンパク質の同定及びバイオマーカーの探索強化に繋げていきます。

## 海外市場 ニューモ、タイで販売開始

ニューモ®育毛剤が中国、ベトナムに続き、タイでも販売開始されます。現地のKOL（Key Opinion Leader）、ソーシャルメディアを複合的に活用した広告を行い、日本での研究や実績など当社の強みを訴求していきます。



タイ国内の育毛剤市場は、成長市場ですが、現地企業が中心です。

そこで私たちは、日本の企業によるエビデンスがある育毛商品としてのポジションを構築していく計画です。

今後、LP、Lazada、Shopeeなどの販売プラットフォームを通じて、日本発の育毛剤やシャンプーの認知を図っていきます。

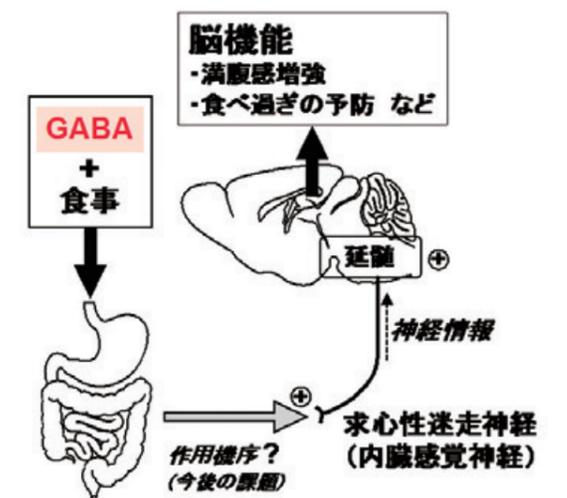
国民的認知度を誇る現地の俳優を起用

## 論文 GABAの食欲抑制効果を発見

京都府立大学大学院生命環境科学研究科の岩崎有作教授のグループとの共同研究で、GABAの経口摂取が**満腹感増強**という脳機能と関連し、食べ過ぎを予防することを発見しました。

本研究成果は、スイス学術雑誌「Nutrients」に掲載されます。

今後、GABAの脳作用における詳細な機序が解明されることにより、GABAの摂取が「ストレス低減」や「睡眠の質向上」に加えて、「食欲抑制」といった新たな効果も含め、多くの人々の健康維持・増進に貢献することが期待されます。



食事でGABAを摂取することが大事